



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

東

上場会社名 フィンテック グローバル株式会社 上場取引所
コード番号 8789 URL <https://www.fgi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 玉井 信光
問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 上席執行役員 (氏名) 千田 高 (TEL) 03-6456-4600

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績(2025年10月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	4,237	9.3	1,449	19.6	1,333	15.6	1,007	18.2
2025年9月期第1四半期	3,876	12.9	1,211	24.1	1,153	20.9	851	44.5

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 1,221百万円(54.5%) 2025年9月期第1四半期 790百万円(13.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	5.25	5.21
2025年9月期第1四半期	4.35	4.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	29,437	12,493	38.7
2025年9月期	26,994	12,042	40.3

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 11,395百万円 2025年9月期 10,869百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	3.00	3.00
2026年9月期	—				
2026年9月期(予想)		0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,200	26.1	4,200	23.3	4,000	23.4	2,700	27.2	14.04

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 2026年9月期第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社(社名) 白山コネクト合同会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年9月期1Q	201,321,700株	2025年9月期	201,321,700株
② 期末自己株式数	2026年9月期1Q	9,459,353株	2025年9月期	9,026,320株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年9月期1Q	191,924,623株	2025年9月期1Q	195,887,380株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料の4ページ「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、2026年1月22日付で647,700株の譲渡制限付株式(報酬)としての自己株式の処分を行っております。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該処分及び新株予約権の行使による自己株式の処分28,000株の影響を考慮して期中平均株式数192,339,538株により算出しております。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は2026年2月12日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループは、事業承継問題を抱える企業へのプライベートエクイティ(以下「PE」という。)投資を推進しております。

当第1四半期連結累計期間は、事業承継案件におけるPE投資の回収が順調に進捗したことや、トラックオペレーティングリースのファンド組成及び商品販売の増加、メッツァの来園者数が各種施策によって増加したことにより、売上高は4,237百万円(前年同期比9.3%増)、売上総利益は2,994百万円(前年同期比22.9%増)となりました。販売費及び一般管理費は、給与水準の引き上げや人員増強による人件費の増加、メッツァにおけるプロモーション強化に伴う広告宣伝費の増加などにより前年同期比26.1%増の1,545百万円となりましたが、営業利益は売上総利益の増加により1,449百万円(前年同期比19.6%増)、経常利益は1,333百万円(前年同期比15.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,007百万円(前年同期比18.2%増)となりました。

(単位: 百万円)

	2025年9月期 第1四半期 連結累計期間	2026年9月期 第1四半期 連結累計期間	増減額
売上高	3,876	4,237	360
投資銀行	2,297	2,476	178
投資銀行－航空機部門	696	729	32
パブリックサポートサービス	125	156	30
エンタテインメント・サービス	863	1,055	192
消去	△106	△180	△73
売上総利益	2,436	2,994	557
投資銀行	1,761	2,273	512
投資銀行－航空機部門	315	340	25
パブリックサポートサービス	74	99	24
エンタテインメント・サービス	338	393	54
消去	△52	△111	△59
営業利益 (セグメント利益又はセグメント損失(△))	1,211	1,449	237
投資銀行	1,344	1,714	369
投資銀行－航空機部門	54	47	△6
パブリックサポートサービス	△8	△84	△76
エンタテインメント・サービス	159	158	△1
消去又は全社費用	△339	△386	△46
経常利益	1,153	1,333	179
税金等調整前四半期純利益	1,161	1,333	171
親会社株主に帰属する四半期純利益	851	1,007	155

セグメント別の業績は以下のとおりであり、売上高についてはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

なお、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。当該変更の詳細は、2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等の注記)Ⅱ 当第1四半期連結累計期間の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 投資銀行

投資銀行では、前連結会計年度に組成した大型の事業承継案件へのPE投資が回収に至り、投資回収やPEファンドのアセットマネジメントの売却報酬による売上高が前年同期比で増加しました。

その他の不動産・有価証券等のアセットマネジメントにおいては、海外投資家によるレジデンス投資が減少し、

預り資産残高が前連結会計年度末比3.2%減の1,564億円となりました。なお、当第1四半期連結会計期間に風力発電所開発案件のアセットマネジメントを新規受託しており、今後開発の進捗とともに預り資産残高の増加が見込まれます。

トラックオペレーティングリースでは、当社グループが組成するファンドの投資対象となる車両の確保が順調に進捗し、ビジネスパートナーとの契約数も増加した結果、出資金販売額は1,490百万円となり、アレンジメントやファンド管理等による売上高は前年同期比で2割増となりました。

メッツァビレッジでは、来園者数の増加に伴い駐車場収入等が増加したことにより売上高が増加しました。

以上の結果、投資銀行の売上高は2,476百万円（前年同期比7.8%増）、売上総利益は利益率が高い事業承継案件のPE投資による売上高の増加のほか、前年同期にあったメッツァビレッジの一部施設改装に伴う除去損200百万円の影響がないこともあり2,273百万円（前年同期比29.1%増）となり、セグメント利益は1,714百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

② 投資銀行－航空機部門

投資銀行－航空機部門では、航空機リースの返還時などに行われる機体検査の技術サービスと航空機リースを行っております。技術サービスは、航空業界における航空機不足によるリース契約延長の基調が続いていることから売上高が減少しましたが、航空機リースは、前期に積み上げた賃貸資産によるリース収益が増加したため売上高が増加しました。

以上の結果、投資銀行－航空機部門の売上高は729百万円（前年同期比4.7%増）となりましたが、販売費及び一般管理費の増加によりセグメント利益は47百万円（前年同期比12.1%減）となりました。

③ パブリックサポートサービス

パブリックサポートサービスでは、インフラを含む地域課題解決を推進する方針のもと、地方公共団体の財務書類作成・公共施設マネジメント等の業務受託と、再生可能エネルギー関連のビジネスを展開しております。当社グループは、財務書類作成受託において大規模自治体で一定のシェアを確保しており、当第1四半期における受託団体数は、都道府県において9団体（前年同期は9団体）、政令指定都市・特別区において14団体（前年同期は13団体）となり堅調に推移しました。公共施設マネジメント等の業務受託では、公共施設等更新計画の改訂・まちづくり計画や、子育て・健康増進等の分野への支援による売上が増加したほか、建築の専門知識を有する人材が不足する自治体に対し、公共施設マネジメント等のアウトソーシングの提案及び協議が進展しております。

再生可能エネルギー関連については、前連結会計年度に取得した太陽光発電所の開発プロジェクトの工事が順調に進捗しました。当該開発プロジェクト10件のうちの5件について電気小売事業者と売電契約を締結して、2026年6月から順次開始予定の商業運転に向けた準備が着実に進行しました。

以上の結果、パブリックサポートサービスの売上高は156百万円（前年同期比24.6%増）となりましたが、太陽光発電所開発プロジェクトや公共施設マネジメント等における人材への先行投資等により、セグメント損益は84百万円の損失（前年同期は8百万円の損失）となりました。

④ エンタテインメント・サービス

エンタテインメント・サービスでは、クリスマス・イベントや、スケートリンク設置、造雪機により造成したエリアでの雪遊び体験など多彩な集客策を展開しました。ウェブサイトを使ったプロモーションの効果もあり、メッツァ（メッツァビレッジ及びムーミンバレーパーク）の来園者数は、前年同期比10.5%増の24.7万人となり、物販単価などの顧客単価も上昇しました。

以上の結果、エンタテインメント・サービスの売上高は1,055百万円（前年同期比22.3%増）となりましたが、アクセス改善のための無料バスの運行やプロモーション強化等により販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は158百万円（前年同期比1.1%減）となりました。

（2）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 総資産

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末より9.1%増加し、29,437百万円となりました。

た。これは主として、現金及び預金が1,127百万円、投資その他の資産の「その他」に含まれる関係会社出資金が336百万円減少したものの、営業貸付金が445百万円、新規投資等により営業投資有価証券が2,735百万円、太陽光発電所開発プロジェクトが進捗したことにより有形固定資産の「その他」に含まれる建設仮勘定が506百万円増加したことによるものであります。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末より13.3%増加し、16,944百万円となりました。これは主として、投資銀行－航空機部門において前連結会計年度に取得した航空資産の残代金の支払いにより流動負債の「その他」に含まれる設備関係未払金が489百万円減少したものの、短期借入金が537百万円、長期借入金が1,472百万円増加したことによるものであります。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末より3.7%増加し、12,493百万円となりました。これは主として、配当金の支払いにより利益剰余金が576百万円、非支配株主持分が76百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,007百万円、その他有価証券評価差額金が124百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 実績	2026年9月期 連結業績予想	進捗率
売上高	4,237	18,200	23.3%
営業利益	1,449	4,200	34.5%
経常利益	1,333	4,000	33.3%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	1,007	2,700	37.3%

2026年9月期の連結業績予想は上記の通りであり、2025年11月7日付の2025年9月期決算短信で公表した連結業績予想に変更はありません。

上述のとおり、当第1四半期連結累計期間は大型案件のPE投資の回収が順調に進捗したことなどにより、各段階利益については業績予想に対する進捗率は高くなっておりますが、概ね想定通りの進捗であることから、通期業績予想は据え置きとします。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,632,789	5,504,884
受取手形、売掛金及び契約資産	1,532,846	1,764,661
営業投資有価証券	830,199	3,565,722
営業貸付金	569,765	1,015,315
販売用不動産	4,102,649	4,103,449
商品	139,147	141,220
その他	1,902,681	1,854,455
貸倒引当金	△112,220	△110,288
流動資産合計	15,597,859	17,839,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,249,656	5,267,919
減価償却累計額	△1,216,951	△1,265,484
建物及び構築物（純額）	4,032,705	4,002,435
賃貸資産	3,295,574	3,295,574
減価償却累計額	△51,067	△91,238
賃貸資産（純額）	3,244,507	3,204,336
その他	1,752,065	2,321,042
有形固定資産合計	9,029,277	9,527,815
無形固定資産		
のれん	60,005	54,869
その他	75,319	54,184
無形固定資産合計	135,324	109,053
投資その他の資産		
投資有価証券	1,173,976	1,331,777
繰延税金資産	137,492	40,507
その他	954,641	606,711
貸倒引当金	△34,443	△17,611
投資その他の資産合計	2,231,667	1,961,384
固定資産合計	11,396,270	11,598,253
資産合計	26,994,129	29,437,674

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	330,693	419,157
短期借入金	3,414,679	3,952,511
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	5,960,439	6,130,520
未払法人税等	205,333	149,980
リース債務	30,052	36,997
賞与引当金	382,987	223,805
その他	1,816,022	1,637,601
流動負債合計	12,240,207	12,650,574
固定負債		
社債	100,000	50,000
長期借入金	2,068,376	3,541,239
リース債務	28,445	89,592
繰延税金負債	17,218	121,228
退職給付に係る負債	203,126	197,034
その他	294,580	294,580
固定負債合計	2,711,747	4,293,675
負債合計	14,951,955	16,944,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,373,336	5,373,336
資本剰余金	969,796	969,676
利益剰余金	5,301,178	5,731,336
自己株式	△906,942	△954,441
株主資本合計	10,737,368	11,119,908
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,149	130,081
為替換算調整勘定	127,200	145,391
その他の包括利益累計額合計	132,349	275,473
新株予約権	98,259	100,392
非支配株主持分	1,074,196	997,650
純資産合計	12,042,174	12,493,424
負債純資産合計	26,994,129	29,437,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,876,692	4,237,254
売上原価	1,439,864	1,242,822
売上総利益	2,436,828	2,994,431
販売費及び一般管理費	1,225,507	1,545,418
営業利益	1,211,321	1,449,012
営業外収益		
受取利息	5,992	4,601
受取配当金	—	74
持分法による投資利益	—	6,737
その他	421	5,055
営業外収益合計	6,413	16,468
営業外費用		
支払利息	30,002	61,650
持分法による投資損失	2,543	—
社債利息	—	400
為替差損	20,654	24,035
支払手数料	10,724	45,684
その他	164	333
営業外費用合計	64,089	132,104
経常利益	1,153,645	1,333,376
特別利益		
新株予約権戻入益	8,162	—
特別利益合計	8,162	—
税金等調整前四半期純利益	1,161,807	1,333,376
法人税、住民税及び事業税	42,685	145,076
法人税等調整額	208,482	146,401
法人税等合計	251,168	291,477
四半期純利益	910,639	1,041,898
非支配株主に帰属する四半期純利益	59,015	34,854
親会社株主に帰属する四半期純利益	851,623	1,007,044

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	910,639	1,041,898
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,933	145,469
為替換算調整勘定	△107,533	34,721
持分法適用会社に対する持分相当額	679	△599
その他の包括利益合計	△119,787	179,591
四半期包括利益	790,852	1,221,489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	793,593	1,150,168
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,741	71,321

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行	投資銀行－ 航空機部門	パブリック サポート サービス	エンタテイン メント・ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2, 272, 425	696, 334	121, 986	785, 946	3, 876, 692	—	3, 876, 692
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	25, 525	250	3, 200	77, 467	106, 442	△106, 442	—
計	2, 297, 951	696, 584	125, 186	863, 413	3, 983, 135	△106, 442	3, 876, 692
セグメント利益 又は損失(△)	1, 344, 942	54, 509	△8, 777	159, 892	1, 550, 567	△339, 246	1, 211, 321

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△339,246千円には、セグメント間取引消去54,470千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△393,717千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	投資銀行	投資銀行－ 航空機部門	パブリック サポート サービス	エンタテイン メント・ サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2, 438, 843	729, 424	150, 905	918, 081	4, 237, 254	—	4, 237, 254
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	37, 259	—	5, 100	137, 719	180, 079	△180, 079	—
計	2, 476, 102	729, 424	156, 005	1, 055, 800	4, 417, 333	△180, 079	4, 237, 254
セグメント利益 又は損失(△)	1, 714, 051	47, 909	△84, 993	158, 165	1, 835, 133	△386, 121	1, 449, 012

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△386,121千円には、セグメント間取引消去66,068千円及び報告セグメントに配分していない全社費用△452,189千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「投資銀行事業」「公共コンサルティング事業」「エンタテインメント・サービス事業」の3区分から、「投資銀行」「投資銀行－航空機部門」「パブリックサポートサービス」「エンタテインメント・サービス」の4区分に変更しております。

(1)「投資銀行－航空機部門」の新設

投資銀行事業における航空機リースは、開始から2年で事業モデルを確立し、量的のみならず質的な重要性が増しております。従来、当該業務は投資銀行事業とのシナジーを重視した一体的な運営を行ってまいりましたが、当第1四半期連結会計期間より、独自の予算編成及び実績管理に基づく意思決定体系へとガバナンス体制を高度化させました。また、航空機リースの機体売却益などによる収益は他の投資銀行事業の収益と比較して、原価率等の指標に大きな差異が生じております。

以上を踏まえ、経営管理上の区分をより明確に反映し、連結財務諸表の透明性を高めるため、「投資銀行事業」から航空機リースを含む「航空ビジネス」を切り出し、「投資銀行－航空機部門」として新設しております。

(2)「パブリックサポートサービス」への集約、再編

公共コンサルティング事業では、地方自治体からの依頼がコンサルティング中心から実務の業務受託へ移行が進んでおります。また「投資銀行事業」の内部区分である「再生可能エネルギー施設開発・運営」では、今後、地方自治体が関与する電力事業も支援する方針です。これらを踏まえ、両事業を集約し「パブリックサポートサービス」として再編しております。

(3)セグメント名称の変更

名称を簡略化して、「投資銀行事業」を「投資銀行」、「エンタテインメント・サービス事業」を「エンタテインメント・サービス」としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	107,948千円	139,060千円
のれんの償却額	6,444千円	6,772千円

(重要な後発事象の注記)

該当事項はありません。